

報道関係各位

平成 24 年 年頭社長挨拶(要約)

株式会社 ツムラ

株式会社 ツムラ

コーポレート・コミュニケーション室

広報グループ 担当：中島 実

TEL 03-6361-7100

積極的に社会との関わりを持ち、社会と共に生きていく

昨年の東日本大震災は、1万9,000人を超える痛ましい犠牲者を出し、東北地方に甚大な被害を及ぼしました。亡くなられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、今なお、被災地でご苦労されている皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当社においても、茨城工場、石岡センターの生産が5月中旬まで停止し、製品の供給を制限せざるを得ない時期がありました。この間、医療機関や患者様に対して多大のご迷惑をお掛けしたことを大いなる反省とし、今後の対応を万全なものにしなければなりません。一方、皆さんが一丸となって生産の復旧や営業に努力されたことに対し、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

2009年度からの中期経営計画は、本年が最終年です。今年度は、震災による大きな影響を受け下方修正しました。今年の3月末迄には、従来の伸びに追いつけるよう、医薬営業本部が活動を進めています。新中期3ヵ年計画については、活動目標はこれまでと変わりませんが、震災の影響による、医薬の販売の遅れと国際開発の状況を織り込み、生産計画や生薬調達計画、設備投資計画について、実施の時期やタイミングを改めて検討すべきであると考えます。新中期3ヵ年計画は、今年5月の決算発表時に公表する予定です。

中期経営計画の活動目標は、「漢方医学の確立」「育薬の推進」「漢方の国際化」「生産能力の増強と品質管理体制の充実」「安全な生薬の安定確保」「開かれた会社の創造」です。

「漢方の国際化」については、大建中湯の米国での開発は、クローン病に対する臨床試験が新たに加わり、大腸がん術後POI、IBS-C、クローン病の3つを対象として進めています。大建中湯の米国上市は、現実的なものとなっていることがわかつています。

「開かれた会社の創造」については、企業は単に利益を出せば良いというのではなく、社会の中で事業を営む以上、積極的に社会との関わりを持ち、社会と共に生きていくという意識をもたなければなりません。当社は、漢方・生薬事業を通じ「社会や人々のお役に立てる企業」「人に優しい企業」であることを、事業を行う上での基本基調としており、環境負荷の少ない生産方法の検討や環境保全活動、障がい者の方の雇用にも積極的に取り組んでいます。自分一人で生きているのではないということを自覚し、会社内でも、地域社会と同様な意識を常に持つことが、基本基調に通じるものであると思います。そして、このような意識改革が、人を思いやる気持ちの醸成につながるものであると思います。

年頭にあたり、ツムラの現状や、今後取り組むべき課題、私の思い等についてお話ししました。最後になりますが、2012年がツムラ、そして皆さんとご家族の方々にとって希望に満ち、絆を深め、笑顔で健康に過ごせる年となりますことを、心からお祈りします。

以上